

資料 1

様式 2

令和 7 年度
流域治水プロジェクト フォローアップ

五十鈴川水系

令和 7 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県
【日向土木事務所】

【更新】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

洪水氾濫対策

【小項目】対策メニュー

河道掘削・樹木伐採、堤防整備

【概要】

- 土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
- 堤防未整備箇所の築堤工事を実施した。
- 引き続き河川改修等を実施する。

R7年度五十鈴川 河川改修等

事業費

約3.2億円

河道掘削約0.6万m³ほか

五十鈴川(門川町)



実施前

五十鈴川(門川町)



実施後

宮崎県
【日向土木事務所】

【更新】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

洪水氾濫対策

【小項目】対策メニュー

令和4年9月台風14号災害対策

【概要】

- 五十鈴川水系では、令和4年台風14号により河川災が11件発生し、令和7年度までに全ての工事を発注手続きを実施。

小黒木川(美郷町)



着手前

小黒木川(美郷町)



完成

令和7年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河川増水による逆流防止対策 等

【概要】

○潜水橋などのアクセス道路が浸水する操作(閉鎖)できない樋門があるため、令和5年度から、樋門の自動閉鎖化を実施しており、令和7年度は6号樋門の自動閉鎖化工事を実施した。

五十鈴川6号樋門(門川町)



実施前

令和8年3月末完成予定

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	土砂災害対策
	【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】

○土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進めた。

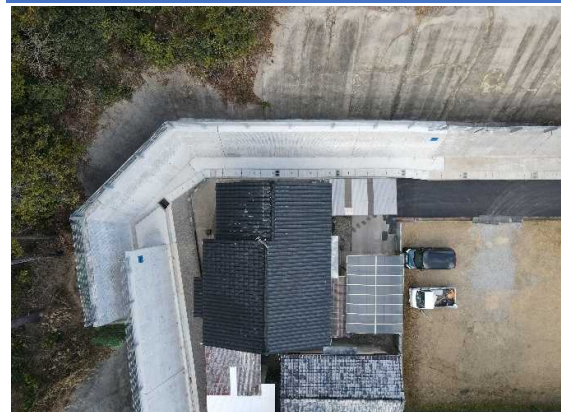
R7年度実績

砂防	2 溪流	急傾斜	3 箇所
----	------	-----	------

汐谷川1 砂防(美郷町北郷)



梅ノ木地区 急傾斜(門川町)



令和 7 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

- 河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
○適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。



再造林



下刈り

森林整備事業の取組状況（令和 6 年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）

①再造林：570ha ②下刈り：2,805ha ③除間伐：926ha

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	治山事業（治山ダム・落石対策等）

- 林地荒廃防止、災害復旧のため落石対策等を実施した。

R7年度実績		
工種	箇所数	事業費（千円）
治山ダム工	1箇所	7,010

折立地区 治山ダム工（門川町）

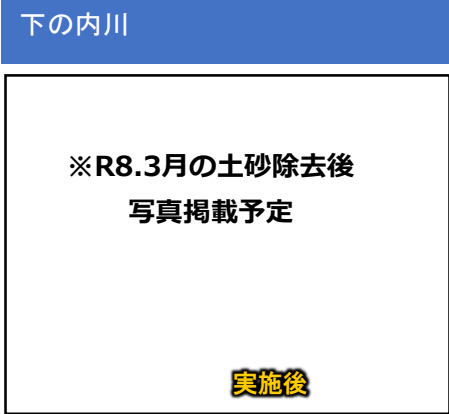


令和7年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

門川町 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】
 ○上井野地区の下の内川において、堆積している土砂を除去し、河道を掘削することにより、洪水等が起こらない様に対処した。

R7年度実績			
実施河川数	1河川	樹木伐採	—
事業費	約1.5百万円	河道掘削	約200m ³



門川町 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（造林・下刈等）

【概要】
 主伐後の再造林や保育（下刈等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。また、森林経営管理制度に基づき、手入れの行き届いていない森林の除間伐を実施し、森林の多面的機能の維持増進を図った。

【実績】(令和7年度)
 造林 36.3ha 下刈 94.2ha 除間伐 6.9ha



令和 7 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

美郷町

【更新】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

用水路整備

【概要】

- 洪水氾濫を減らすため、用水路を整備し流水の貯留機能の拡大を実施した。
- 令和7年度においては整備はなされなかった。(災害復旧を重視)

R 7 年度実績

実施箇所数	1箇所	整備延長	294m
事業費	20百万		



実施前



実施後

美郷町

【更新】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】

用排水路や農道の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により、周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	40
多面的機能支払制度	33
計	73

用排水路の管理



農業施設の管理



農地の維持



令和 7 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

美郷町 【更新】	【大項目】 区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】 対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】 対策メニュー	再造林、保育（除間伐等）

【概要】

再造林、保育（除間伐等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。

森林整備状況（令和 7 年度予定）

事業区分	事業内容	面積
森林整備	新植	299ha
	除間伐	106ha
	計	405ha

美郷町の森林面積：40,164ha

うち民有林面積：39,100ha



森林整備センター 【更新】	【大項目】 区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】 対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】 対策メニュー	水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和 7 年度実績				
植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
12ha	43ha	54ha	24ha	933m

森林整備実施イメージ



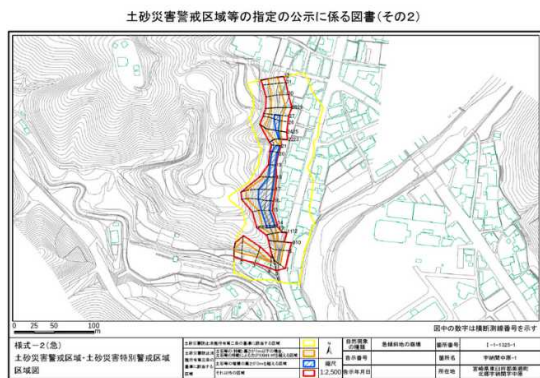
令和 7 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】 区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】 対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】 対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】
 ○土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。
 ○指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼。



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
 HP : www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】 区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】 対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】 対策メニュー	防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】
 ○毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R7年度実績			
実施校数	1校	参加生徒数	47人



令和 7 年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】 区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】 対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】 対策メニュー	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○ 土地改良区が管理する樋門等の土地改良施設において、維持管理状況を県・市町・土地改良区の三者で確認し、適正管理の啓発を実施。

県・市・土地改良区による適正管理の啓発



宮崎県 【危機管理課】	【大項目】 区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】 対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】 対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D活用システム
 ※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク

システムの概要

宮崎県防災情報共有システム



共有システム画面

システムのイメージ

組織、部局バラバラな情報


各対応業務で使える地図

異種情報の統合



集約・地図化
→ **共通の状況図**

情報を視覚的に把握
→ 情報の**分析**や**対策立案**に寄与



救助活動支援

物資提供支援

復旧活動支援

資料 1

様式 2

令和 7 年度
流域治水プロジェクト フォローアップ

塩見川水系

令和 7 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

【概要】
 ○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
 ○次年度以降も引き続き実施する。

R7年度塩見川水系 河道掘削			
事業費	約70百万円	河道掘削	約5千㎡



宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	土砂災害対策
	【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】
 ○土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進めた。

R7年度実績			
砂防	0 渓流	急傾斜	3箇所

岩崎-1地区 急傾斜(日向市)



中村-2地区 急傾斜(日向市)



令和 7 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

○河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
 ○適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。



森林整備事業の取組状況（令和 6 年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）
 ①再造林：570ha ②下刈り：2,805ha ③除間伐：926ha

日向市 【建設課】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去

○河川パトロールにおいて、河道に支障となる草木等があれば、水災害のリスクを未然に防ぐため、撤去を行う。

【実施河川】▼塩見川水系油蟬川



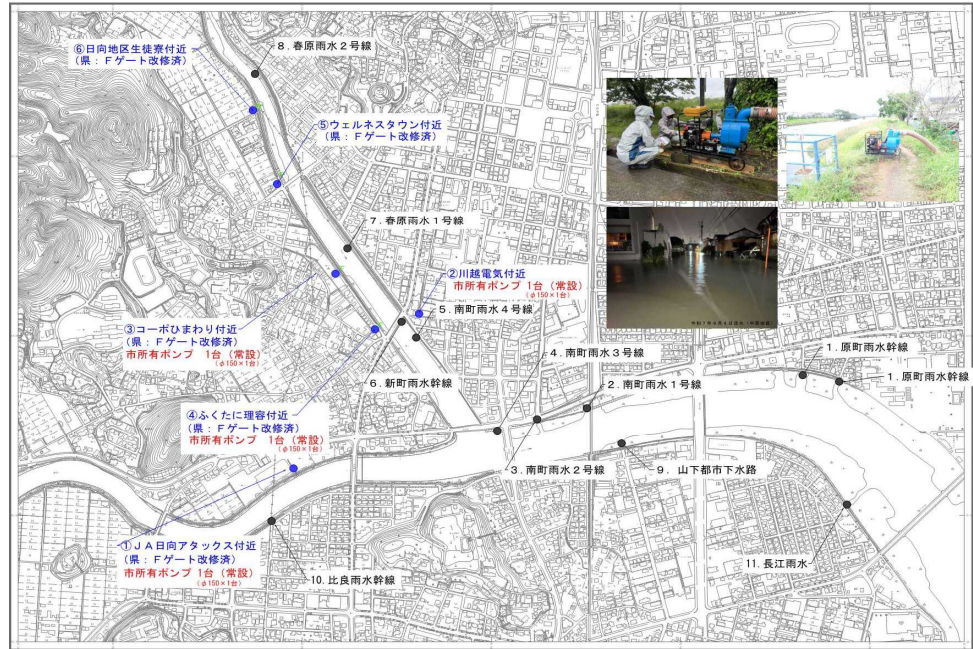
令和 7 年度

塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市 【下水道課】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	仮設排水ポンプの設置

【更新】

近年増加している局地的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）や台風の接近などにより浸水が懸念される地域【南町、中原、高見橋通り周辺】では、仮設排水ポンプ4台を常時配備し、状況に応じて追加配備するなど、排水体制を強化して排水作業を実施する。



日向市 【消防本部警防課】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	消防ポンプ車で内水を汲み上げ河川に放流



(概要)

大雨時、内水氾濫に備え、消防ポンプ車の吸管で、内水に溜まった雨水を汲み上げ、河川に放流する体制を整える。

(目的)

河川の水位が内水よりも高い場合、水門を閉鎖せざるを得ず、溜まった雨水などの内水を、河川に放流し水位の上昇を防ぐ。

(効果)

消防ポンプ車で内水を汲み上げ、河川に放流し内水の水位を下げることで、住民の安心、安全を確保する。

令和 7 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市
【林業水産課】

【更新】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

森林整備（造林・間伐・一貫施業）

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

- 伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。
- 間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和 6 年度実績】

造林面積：28.78ha

間伐面積：131.72ha



森林整備センター

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和 6 年度実績

植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
0ha	0ha	0ha	36ha	0m

R7実績なし

森林整備実施イメージ



間伐実施前

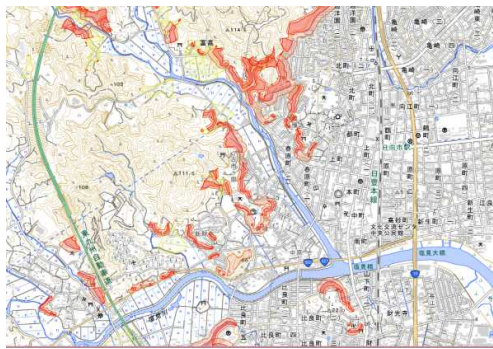


間伐実施後

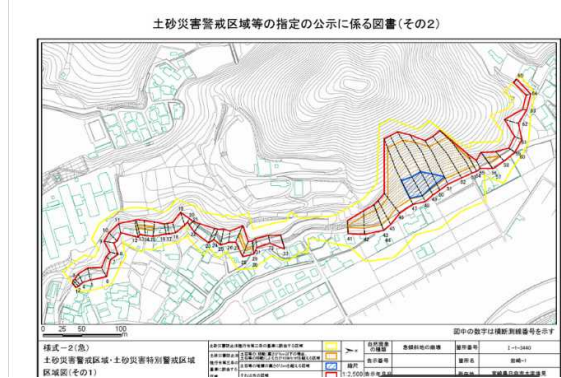
令和 7 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】 区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】 対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】 対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】
 ○土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。
 ○指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼。

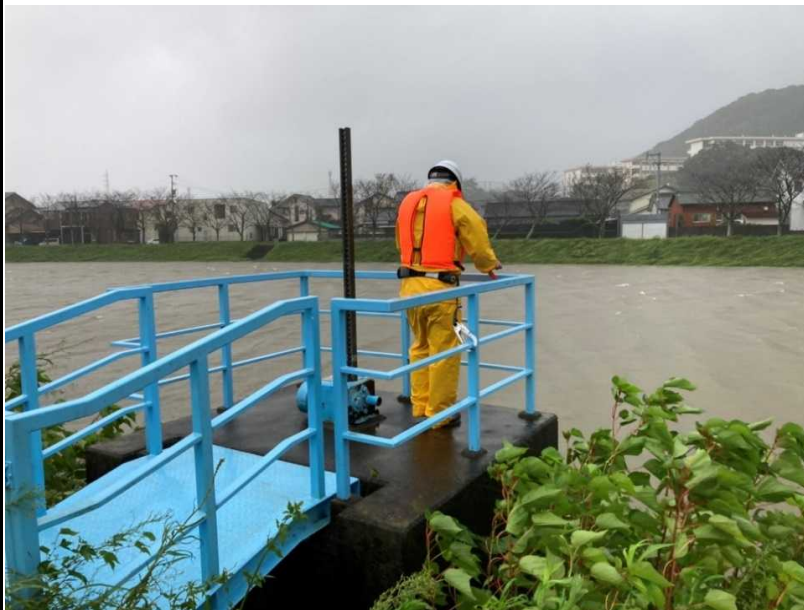


県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
 HP : www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

日向市 【消防本部警防課】	【大項目】 区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】 対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】 対策メニュー	河川水位の定期的な監視



(概要)
 ライフジャケットを装着し、安全帯のカラビナを手すりに決着するなど、安全に配慮しながら、河川水位を定期的に監視する。
 (目的)
 水門監視受託者である消防団は、常に、危険を伴いながら河川を監視し、水位の情報を早期に住民に知らせる。
 (効果)
 住民の生命、身体及び財産を水害から守る。

令和 7 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】
○毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R7年度実績			
実施校数	2校	参加生徒数	134人

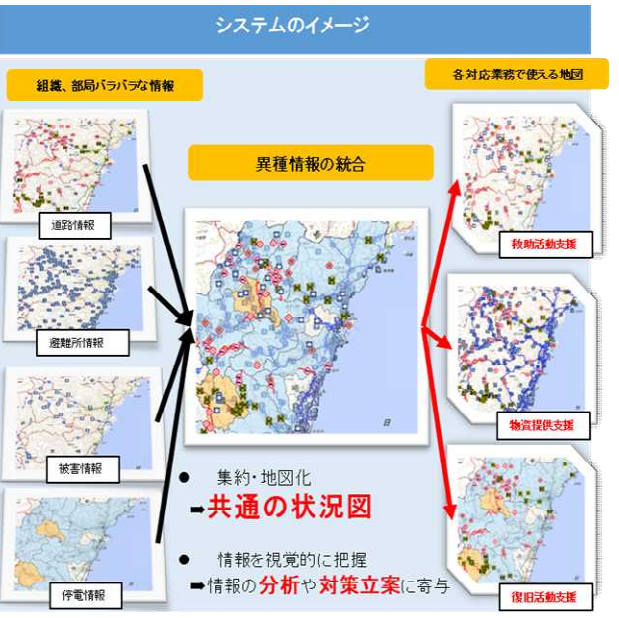


土砂災害防止教室 (日向市立塩見小学校)



宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D活用システム
※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク



令和 7 年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市
【建設課】

【更新】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー

河川パトロールによる災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長 (km)	点検方法	
			頻度	時期
A(重要)	43	71.9	年1回	出水期前(5月下旬～6月上旬)
B(準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前(6月～8月)
C(その他)	38	66.2	年1回	年間を通じて(9月～3月)
計	121	188.9		

【対象河川】 ▼塩見川水系の普通河川(東川ほか7河川)

日向市
【防災推進課】

【更新】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

避難体制等の強化

【小項目】対策メニュー

ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援



学校での防災講話の様子(塩見小学校)

【目的】

土砂災害や浸水のおそれのある区域や避難場所等をハザードマップで確認し、早期避難のための意識啓発を行う。

【対象】

小中高生、自主防災会、企業、地域団体等

【概要】

大雨による土砂災害発生メカニズムや浸水想定区域、日ごろの備えや早期避難について説明を行い、実際にハザードマップで危険箇所を確認及び避難場所等の確認を行った。

【効果】

近年の大雨の状況や、危険箇所を確認することにより早期避難の重要性を考える機会となった。

資料 1

様式 2

令和 7 年度
流域治水プロジェクト フォローアップ

耳川水系

令和7年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】

- 土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
- 引き続き、河道掘削を継続して実施する。

R7年度耳川水系 河道掘削			
事業費	約2.5億円	河道掘削	約4.5万㎡

耳川（美郷町和田地区）



宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	福瀬大橋架替、和田地区土地利用一体型水防災事業

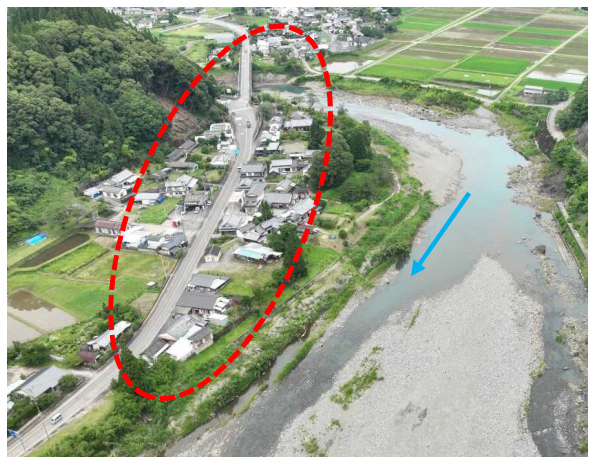
【概要】

- 日向市福瀬大橋の架替工事に令和4年から着手し、現在2基目の橋脚を施工している。
- 美郷町和田地区において、令和6年度から土地利用一体型水防災事業に着手している。

日向市 福瀬大橋橋梁架替



美郷町 和田地区 土地利用一体型水防災事業



令和 7 年度

耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	令和 4 年 9 月台風 1 4 号災害対策

【概要】

○耳川水系では、令和4年から令和7年までに台風等により災害が発生し、復旧工事を実施しており、引き続き完成に向け進捗を図る。

坪谷川（日向市東郷町羽坂地区）



宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	土砂災害対策
	【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】

土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進めた。

R7年度実績

砂防	1溪流	急傾斜	2箇所
----	-----	-----	-----

鵜毛谷川2 砂防(日向市)



若宮-1 急傾斜(美郷町西郷)



令和 7 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	治山事業（治山ダム・落石対策等）

○林地荒廃防止、災害復旧のため治山ダム工・山腹工等を実施した。

R7年度実績					
工種	箇所数	事業費	工種	箇所数	事業費
治山ダム工	1 1箇所	598,465	地すべり対策	4箇所	215,572
山腹工	4箇所	227,917	落石対策	2箇所	152,285

刑部谷 治山ダム工（諸塚村）



間柏原 山腹工（椎葉村）



宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

○河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
○適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。



森林整備事業の取組状況（令和 6 年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）
①再造林：570ha ②下刈り：2,805ha ③除間伐：926ha

令和 7 年度

耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市 【林業水産課】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（造林・間伐・一貫施業）

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

○伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。

○間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和 6 年度実績】

造林面積：28.78ha

間伐面積：131.72ha



美郷町 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	雨水貯留機能の強化
	【小項目】対策メニュー	直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】

用排水路や農道の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により、周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	40
多面的機能支払制度	34
計	74



用水路の管理



農地の維持



令和7年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

美郷町 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林整備事業
	【小項目】対策メニュー	再造林、保育（除間伐等）

【概要】

再造林、保育（除間伐等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。

森林整備状況（令和7年度予定）

事業区分	事業内容	面積
森林整備	新植	299ha
	除間伐	106ha
	計	405ha

美郷町の森林面積：40,164ha
うち民有林面積：39,100ha



諸塚村 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

○森林が持つ水源涵養機能等を発揮させるため、計画的に間伐や下刈り等の適切な森林整備を実施する。

令和6年度実績

○下刈り面積 604.99ha
迫野内川（日向市地内地区）

○間伐面積 25.83ha
搬出間伐 9.53ha
保育間伐 22.02ha

○造林面積 94.44ha



令和 7 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

椎葉村 【更新】	【大項目】 区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】 対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】 対策メニュー	造林事業、間伐促進事業、治山堰堤事業 等

【概要】

○林地崩壊防止、雨水貯留機能向上のために造林・間伐・治山事業を実施した。

R7年度実績			
造林・保育事業	558ha	治山事業	4箇所
事業費	23,204千円	事業費	9,052千円



保育(下刈)施業



保育(間伐)施業



椎葉村 中崎地区



椎葉村 尾銘谷地区

治山事業(流木等総合対策事業)

森林整備センター 【更新】	【大項目】 区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】 対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】 対策メニュー	水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和 7 年度実績				
植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
2ha	80ha	119ha	61ha	2.081m

森林整備実施イメージ



令和 7 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎北部森林管理署 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林の保全・整備

【概要】

○土砂流出軽減のため、森林整備事業(間伐・下刈)を実施した。

R6年度実績

実施数 86ha

事業費 約1.5億円



九州電力

【更新】

【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
【中項目】対策内容	流水の貯留機能の拡大
【小項目】対策メニュー	利水ダムにおける事前放流の実施

- ・令和7年度の事前放流について、実施態勢に入った実績はありますが、基準降雨量未達であったため、事前放流の実績はありませんでした。
- ・今後も引き続き、安全なダム放流操作に取り組んで参ります。

[令和7年度事前放流実績]

ダム	基準降雨量 (降雨継続時間)	事前放流実績
上椎葉	184mm (6h)	なし
岩屋戸	181mm (6h)	なし
塚原	249mm (9h)	なし
諸塚	211mm (6h)	なし
山須原	306mm (12h)	なし
西郷	311mm (12h)	なし
大内原	312mm (12h)	なし

令和 7 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】 区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】 対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】 対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】

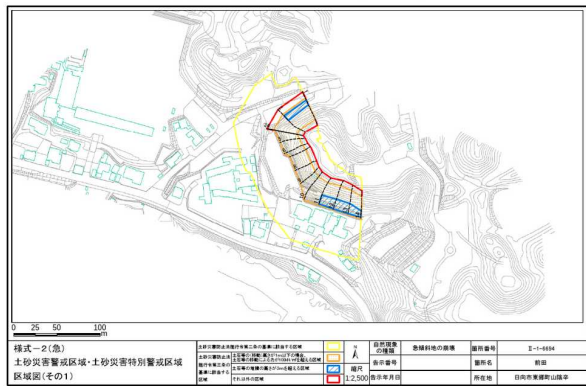
○土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。

○指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP : www.sabomap/miyazaki

土砂災害警戒区域等の指定に係る図書(その2)



公表されている公示図書の一部

宮崎県 【危機管理課】	【大項目】 区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】 対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】 対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D利活用システム

※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク

システムの概要

宮崎県防災情報共有システム

共有システム画面

システムのイメージ

異種情報の統合

- 集約・地図化
- 共通の状況図
- 情報を視覚的に把握
- 情報の分析や対策立案に寄与

令和 7 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県
【日向土木事務所】

【更新】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

防災学習・避難体制の強化

【小項目】対策メニュー

防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】

毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R7年度実績

実施校数

6校

参加生徒数

122人

日向市
【防災推進課】

【更新】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

避難体制等の強化

【小項目】対策メニュー

ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援



ハザードマップの確認（東郷学園）

【目的】

土砂災害や浸水のおそれのある区域や避難場所等をハザードマップで確認し、早期避難のための意識啓発を行う。

【対象】

小中高生、自主防災会、企業、地域団体等

【概要】

大雨による土砂災害発生のメカニズムや浸水想定区域、日ごろの備えや早期避難について説明を行い、実際にハザードマップで危険箇所の確認及び避難場所等の確認を行った。

【効果】

近年の大雨の状況や、危険箇所を確認することにより早期避難の重要性を考える機会となった。

令和 7 年度

耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市
【建設課】

【更新】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー

河川パトロールによる災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長 (km)	点検方法	
			頻度	時期
A(重要)	43	71.9	年1回	出水期前(5月下旬～6月上旬)
B(準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前(6月～8月)
C(その他)	38	66.2	年1回	年間を通じて(9月～3月)
計	121	188.9		

【対象河川】▼耳川水系の普通河川(千鳥川ほか25河川)

日向市
【関係部局】

【更新】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討

【小項目】対策メニュー

日向市流域治水ワーキンググループによる検討

日向市では、浸水対策の素案検討を行うため、令和5年4月に関係課で構成する「日向市流域治水ワーキング会議」を設置し、県の担当者にも参加いただきながら、これまで5回の会議を開催し、市の関係部局で横断的に浸水対策を検討してきた。このワーキンググループにおいて、令和5年8月に「浸水対策素案報告書」(19事業)をとりまとめた。今後、この事業の中から、県の取組と連携して、必要な事業を実施していく予定としており、令和7年度は、内水被害軽減のための仮設ポンプ設置(小野田地区、余瀬地区、幸脇地区)や市管理河川の堆積土砂除去を実施した。

■開催実績

名称	開催日	検討内容
第1回	R5. 5. 29	・令和4年台風第14号被害 ・浸水対策検討スケジュール
第2回	R5. 7. 7	・検討の進め方 ・素案等の検討
第3回	R5. 8. 29	・内水対策報告書とりまとめ ・来年度の浸水対策の検討
第4回	R6. 1. 25	・来年度の浸水対策の確認
第5回	R6. 7. 17	・内水対策取組状況の確認
第6回	R7. 5. 23	・内水対策取組状況の確認 ・特定都市河川の指定

■令和7年度の取組状況

・仮設ポンプ設置状況(R7. 9～11)

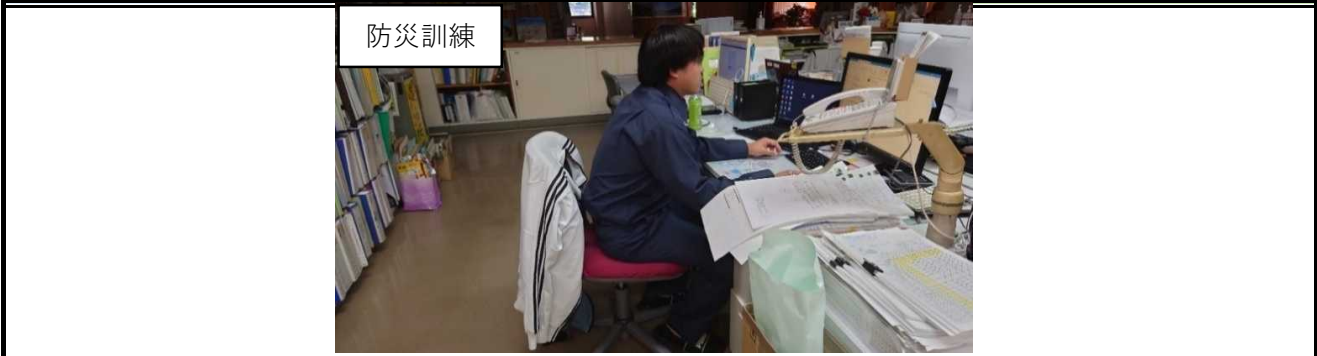


■流域治水ワーキング会議構成員

【構成員】防災推進課、建設課、都市政策課、建築住宅課、下水道課、農業畜産課、林業水産課、消防本部 警防課の係長

令和7年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

諸塚村 【更新】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難体制等の強化
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援等



宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	令和4年9月台風14号災害対策

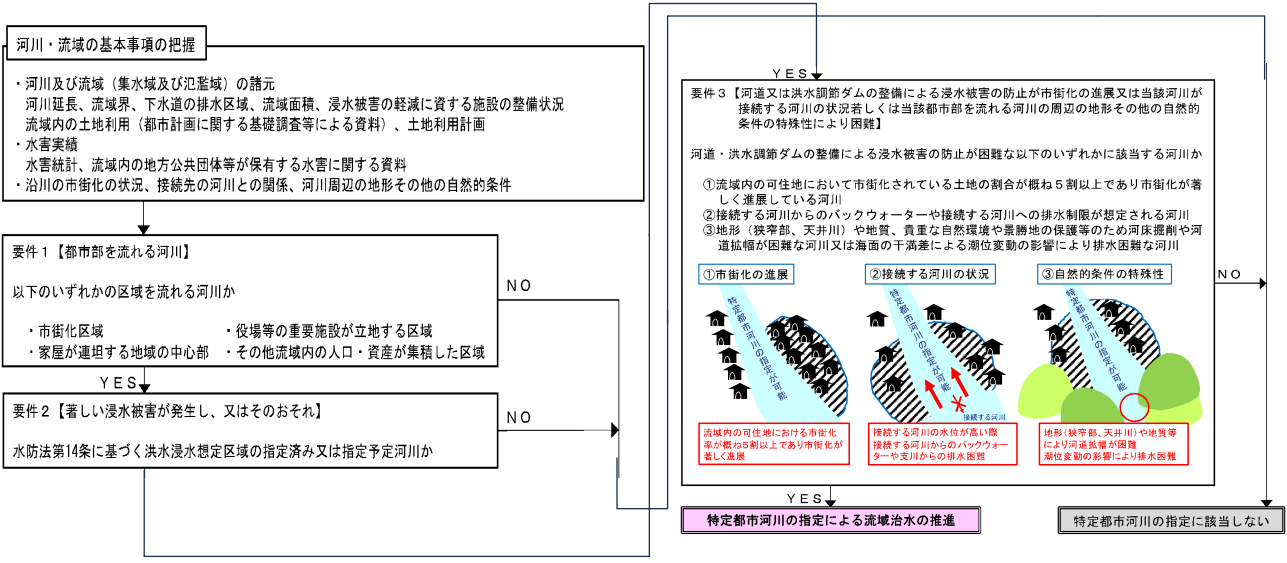
【概要】
 ○五十鈴川水系では、令和4年台風14号により河川災が11件発生し、令和7年度までに全ての工事を発注手続きを実施。



令和 7 年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】 区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】 対策内容	関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討
	【小項目】 対策メニュー	特定都市河川の指定に関する検討

○特定都市河川の指定について、指定要件に関する基礎事項や対象区間の整理を実施しており、引き続き検討を進める。



資料 1

様式 2

令和 7 年度
流域治水プロジェクト フォローアップ

その他水系

令和 7 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】

○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施。
 次年度以降も引き続き実施する。

R7年度その他水系 河道掘削			
事業費	約50百万円	河道掘削	約0.5千㎡

長谷川（日向市日知屋地区）



実施前



実施後

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【更新】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

- 河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
- 適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。



再造林



下刈り

森林整備事業の取組状況（令和 6 年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）

①再造林：570ha ②下刈り：2,805ha ③除間伐：926ha

令和7年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市 【林業水産課】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（造林・間伐・一貫施業）

【更新】

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

- 伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。
- 間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和6年度実績】

造林面積：28.78ha
間伐面積：131.72ha



森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

【更新】

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和7年度実績				
植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
10ha	32ha	18ha	11ha	332m

森林整備実施イメージ



令和 7 年度

その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【追加】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	治山事業（治山ダム・落石対策等）

○林地荒廃防止、災害復旧のため治山ダム工を実施した。

R7年度実績		
工種	箇所数	事業費（千円）
治山ダム工	1箇所	36,039

米ノ山地区 治山ダム工（門川町）



宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○ 土地改良区が管理する樋門等の土地改良施設において、維持管理状況を県・市町・土地改良区の三者で確認し、適正管理の啓発を実施。

県・市・土地改良区による適正管理の啓発



五十鈴土地改良区（五十鈴川）



百町原土地改良区（石並川）

令和 7 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県
【日向土木事務所】

【更新】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

洪水氾濫対策

【小項目】対策メニュー

令和 4 年 9 月台風 1 4 号災害対策

【概要】

○日向土木事務所管内では、令和4年から令和7年までに台風等により災害が発生し、復旧工事を実施しており、引き続き完成に向け進捗を図る。

小丸川鬼神野地区(美郷町)



着手前

小丸川鬼神野地区(美郷町)



完成

日向市
【建設課】

【更新】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー

河川パトロールによる災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長 (km)	点検方法	
			頻度	時期
A(重要)	43	71.9	年1回	出水期前(5月下旬~6月上旬)
B(準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前(6月~8月)
C(その他)	38	66.2	年1回	年間を通じて(9月~3月)
計	121	188.9		

【対象河川】 ▼その他水系の普通河川(庄手川ほか)



令和7年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市 【建設課】 【追加】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去

○河川パトロールにおいて、河道に支障となる草木等があれば、水災害のリスクを未然に防ぐため、撤去を行う。

【実施河川】▼番屋支川、山の田川



宮崎地方気象台	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	水災害リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	台風説明会等の実施

効果

- 早い段階からの情報提供により、体制判断や避難所の開設判断等に活用できる。
- 危機感や防災意識が高まる。



関係者からは、避難情報の発令や避難所開設の判断を行う上で非常に有益であったと声をいただく一方で・・・

課題

○予測精度の問題もあるが、

- ・段階的な解説
- ・解説内容の工夫
- ・過去事例の引用



など危機感を高めるためのさらなる改善が必要

概要

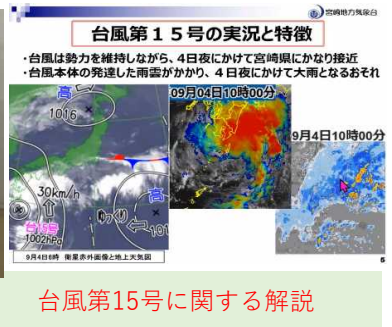
○気象台では、大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼び掛けるほか、台風説明会（報道向け・自治体関係者向け）を実施している。



令和 7 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎地方気象台 【更新】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	水災害リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	防災気象情報にかかる勉強会・気象解説

○ 防災気象情報の利用普及を図る取組みとして、自治体担当者を対象にオンラインツール等を活用した勉強会や**気象台Ch**開催による気象解説を実施している。



- オンラインツールを活用した取組は、参加者にとっては移動時間がなく有効に時間を使えるため効果的である。
- 効果的な支援に向けた課題：質問しやすい環境づくりやポイントを絞った説明資料づくり、また、トピックス的な内容を盛り込むなどの工夫が必要。

宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D活用システム
 ※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク

システムの概要

宮崎県防災情報共有システム

共有システム画面

システムのイメージ

組織、部署バラバラな情報

各対応業務で使える地図

異種情報の統合

- 集約・地図化
- 共通の状況図
- 情報を視覚的に把握
- 情報の分析や対策立案に寄与